日光スノウハイク報告

【山　域】日光

【日　程】2019 年 2 月 16 日（土）～17 日（日）

【参加者】CL 柘植・SL 室・清野・村尾（記録

日光　高山付近地図

【記　録】

2 月 16 日土

竜頭の滝(上)駐車場 10:20➡12:00 高山 12:25➡無名坂➡幕張峠 13:30➡シャクナゲ橋➡竜頭の滝駐車場 14:15

千葉駅 6:00 スタートで京葉高速を市川から外環で繋がったおかげでスムーズに東北道へ直結。関越のように途中でスタッドレスタイヤチェック渋滞も無く 10 時過ぎに竜頭の滝（上側）に到着。思ったよりずっと暖かい。

スノーシューを持ってきたのは柘植さんだけ、、、案の定雪の付き方と登り斜度などからスノウシューを使えるような場所が結局少なかった。アイゼンもつけず、軽快なのぼり 40 分程で、時々、木枝の合間に中禅寺湖を望める。

やはり、今年は雪が少ないのか？

登山道積雪は、一番深い所でも３～４０ｃｍか

登りは、最後の一部でひざ下まで雪に潜ぐる所があったが、皆つぼ足で登頂。ところどころ硬い最中のようだったが、ワカンの出番はなし。頂上標高は 1668mなのでそれなりに寒いが、風があまりなくて一休みできた。

下りは、いきなり急で雪の硬さに合わせて少し下りたが、そこからは、トラバース気味で凍ったところもあり、軽アイゼンを付ける。（リーダーの的確な判断で安全な下山に繋がる絶妙なポイントでの装着だった。ほどなくしてゆるい傾斜からほぼ平らなエリアに着き、幕張峠まで、前方に男体山を望みながらのんびりハイクである。

岳 山
Mt. Takeyama

幕張峠から一部車道を歩き、しゃくなげ橋からはまた散策路で楽しく歩いて 2 時過ぎには竜頭の滝（上）駐車場へ到着。

宿のアストリアまでも時間はかからず、早めの宿到着でゆっくり午後の温泉を楽しんだ。

＊＊

2 日目　2 月 17 日　日

アストリアホテル前 9:30➡11:00 山王峠 11:20➡12:00 光徳牧場➡12:10 ホテル前

朝はゆっくり朝食をとってホテル前から 9:30 の出発。温度計はマイナス６度をさしていたが、風は夜のうちに収まり、本日もハイク日和！昼頃までに戻れるように、目標は眺めの良いとされる山王峠とした。残念ながら今日もスノーシューに適した所は、なくてつぼ足が最適な登りと下りであった。

1.0Km
5.6Km

登り 90 分、下りはすいすいと 50 分で下りられた。

下山後にもう一回♨に入って、スッキリして出発。帰りは清野さんが運転をかって出た。危ぶまれたいろは坂を、隣の柘植さんがシフトチェンジを助手席からサポート、清野さんは、アクセルとブレーキをあまり踏む事なく、積極的なハンドルさばきでいろは坂を下りきった。その後も渋滞もなく昼食もせずに一気に千葉に戻って来た。早めに帰れるのも東北道のメリット。文字通りのんびりスノーハイクツアーであった。

ボヘミアンラプソディの映画がきっかけで、もともと好きだったQueenにすっかり再度はまっているMさん。行帰りの車での音楽はすべてQueenという事に、、、。6回も見た映画の話に他の3人もそのFreddyの熱に圧倒されたツアーでもあった。(^_-)-☆